

平成23年 第8回京丹後市教育委員会会議録

- 1 開催年月日 平成23年7月8日（金）
開会 午後4時00分 閉会 午後4時58分
- 2 場 所 大宮庁舎4階 第2・3会議室
- 3 出席委員名 文珠清道、森益美、小松慶三、水野孝典、米田敦弘
- 4 欠席委員名 なし
- 5 説明者 教育次長 吉岡喜代和、教育理事 木本勝幸、教育理事 竹本茂、
教育総務課長 藤村信行、学校教育課長 山根直樹、社会教育課長
安達忠行、文化財保護課長 吉田誠、総括指導主事 後藤幸雄
- 6 書記 教育総務課長補佐 味田伸一
- 7 議 事
・委員長の選挙について
 - (1) 議案第33号 京丹後市指導主事の任命について
 - (2) 議案第34号 平成23年度松竹新派特別公演「女の一生」に係る後援について
 - (3) 議案第35号 夏休み特別展「昭和レトロの世界 ～わが街なつかしの広場～」に係る後援について
 - (4) 議案第36号 ポリテックビジョン in 京丹後2011に係る後援について
 - (5) 報告第10号 京丹後市就学指導委員会委員の委嘱について
 - (6) 報告第11号 京丹後市小中一貫教育研究推進協議会委員の委嘱について
- 8 その他
 - (1) 諸報告
 - ① 「後援」申請に係る6月期承認について（教育次長）
 - (2) 各課報告
〈学校教育課〉
 - ① 平成23年度全国学力・学習状況調査について
 - ② 7月行事予定について
 - ③ 学校再配置事業の取り組みについて
 - ④ 「まるごと京丹後食育の日」（1学期）の取り組みについて

<社会教育課>

- ① 平成23年度京丹後市公民館連絡協議会総会・第1回研修会について
- ② 平成23年度視覚障害者交流研修会について
- ③ 第44回京都府体育指導委員研究大会について
- ④ 平成23年度第1回京丹後市図書館協議会について
- ⑤ 平成23年度くみはまカヌー交流大会について
- ⑥ 平成23年度京丹後市学校支援地域本部第1回実行委員会について
- ⑦ 平成23年度丹後地方社会教育委員連絡協議会総会・研修会について
- ⑧ 第26回国民文化祭・京都2011 小町ろまん「短歌大会」応募状況について

<文化財保護課>

- ① 行政財産の使用許可について
行政財産使用許可申請書の写し
(KDDI株式会社：京丹後市峰山町鱒留小字奥大路1650番地(成路分校跡地))
- ② 京丹後市文化財セミナー「久美浜代官所と丹後・但馬・美作」について

(3) その他

9 会議録 別添のとおり(全12頁)

10 会議録署名

別添の会議録は書記が記載したものであり、別添記載の正確であることを認めここに署名する。

平成23年8月8日

委員長 小松 慶三

署名委員 森 益美

〔招集者〕 京丹後市教育委員会委員長 職務代理者 文珠清道

〔被招集者〕 森益美、小松慶三、水野孝典、米田敦弘

〔説明者〕 教育次長 吉岡喜代和、教育理事 木本勝幸、教育理事 竹本茂、
教育総務課長 藤村信行、学校教育課長 山根直樹、社会教育課長 安達忠行
文化財保護課長 吉田誠

〔書記〕 教育総務課長補佐 味田伸一

〈文珠委員長職務代理者〉

ただ今から「平成23年 第8回京丹後市教育委員会定例会」を開会いたします。

本日の定例会は、上羽委員長が任期満了によりご退任されましたので、職務代理者の職責により私が新しく委員長を選出するまでの議事進行を務めてまいりますので、ご了解のほどよろしくお願いいたします。

また、新しく教育委員に任命されました水野委員には、ご承知のとおり前教育次長を勤められ、学校再配置や小中一貫教育等々教育全般に対しまして、真正面から取り組んでおられました。委員にはその豊富な知識と経験を活かされて、京丹後市の教育並びに教育委員会のさらなる活性化が図れていきますことにご活躍をいただきますようお願い申し上げます。

さて、冒頭で申し上げましたとおり上羽委員長のご退任に伴いまして、昨日退任式が執り行われました。その退任のご挨拶の中で、委員長は旧丹後町時代から通算16年の委員活動の中で一貫して持っておられた2つの基本となる考えを示されておられました。一つは、委員は市民の代表であり、市民サイドに立った考え方をしなければならない。もう一つには、自分の意見は積極的に発言する。そして、その意見には責任を持つということであったと思っております。私たち教育委員もこのことを強く意識しまして、これからの委員活動に取り入れていかなければならないと、そういう風に示されたものと考えさせていただきました。

それでは次に、米田教育長から第7回教育委員会定例会開催後の諸会議、行事等を中心に教育長報告をお願いいたします。

〈米田教育長〉

それでは、お忙しいところご苦勞様です。先ほどからありますように、上羽委員長が昨日でご退任され、本日から水野教育委員をお迎えして、新しい体制でスタートすることになります。水野氏は今までもありましたように、私が言うまでもなく、教育には精通していただいております。教育委員会が抱えている様々な課題の解決に向けて知恵を出していただけると期待しています。よろしくお願いいたします。

本日の教育委員会議は、教育委員長を選出し、新しい体制を発足させるという記念すべき日になります。新委員長のもと、心を一つにした教育委員会に、また教育長としまして教育委員会で決められた事務の執行につきましても、事務局職員がその意向をしっかりと

と受け止めて着実にこなせるようにみんなで努力をする体制を作りたいと思っております。

学校再配置の問題、教育改革構想の問題、幼保一元化の問題、新学習指導要領への対応の問題、わくわくするような課題が山積しておりますけれども、教育委員さんからも厳しい意見をいただきながら、事務局職員が一つになって取り組めば、やりがいのある課題ばかりであるという思いで頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、6月の動静について説明をいたします。

「平成23年6月1日～7月7日動静表」朗読説明

〈文珠委員長職務代理者〉

ただいまの教育長報告について、ご質問等ありましたらお願いします。

次に会議録の承認を行います。第7回の署名委員は、私、文珠でございます。会議録については、すでにお手元に送付しておりますが、原案のとおり承認してよろしいですか。

〈全委員〉

異議なし。

〈文珠委員長職務代理者〉

原案どおり承認いたします。

〈文珠委員長職務代理者〉

本日の会議録署名委員の指名をいたします。

森委員を指名しますのでお願いします。

それでは、お手元の会議次第に沿って議事を進めさせていただきます。

〈文珠委員長職務代理者〉

まず、委員長の選挙を執り行います。

委員長の任期は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第12条の規定により1年となっております。委員長任期が7月7日をもって終了いたしております。従いまして、平成23年7月8日から平成24年7月7日までの次期委員長を選挙で選出していただきたいと思っております。

それでは、委員長の選挙を行います。単記・無記名でお願いします。

〔書記が投票用紙を配付〕

〔委員各位が投票〕

〔書記が投票用紙を集め、開票し、開票結果を文珠委員長職務代理者に示す〕

〈文珠委員長職務代理者〉

投票の結果をお知らせします。

投票の結果、委員長職は小松慶三さんに決定いたしました。よろしく願いいたします。

【委員長へ任命通知書交付】

〈文珠委員長職務代理者〉

ただいま任命通知書を交付させていただきました。続きまして、委員長よりご挨拶をいただきます。

〈小松委員長〉

上羽委員長の後を受けさせていただきます、新たに委員長としての職務を背負うことになりました小松でございます。本当に力不足で、皆様のご協力なしにはできないと思います。昨年の7月に教育委員とならせていただきまして、まだ1年少々でございます。本当に課題は山積みだと思いますが、皆様のご協力をいただく中で一つ一つ一歩ずつ前へ進んでいって、この丹後の子どもたちの将来のために、そして周りの環境すべてのために、みなさん一致団結して進めていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願ひいたします。

〈文珠委員長職務代理者〉

これより、小松委員長より、議事進行をしていただきます。

〈小松委員長〉

それでは、議事に入らせていただきます。

お手元の会議次第にそって進めさせていただきます。

はじめに、会議の非公開についてお諮りします。議案第33号については、人事案件のため、京丹後市教育委員会会議規則第16条第1項第1号の規定により、非公開としてよろしいでしょうか。

〈全委員〉

異議なし。

〈小松委員長〉

異議なしということで全員の賛同を得ましたので、議案第33号については非公開といたします。

(議案第33号について、審議可決)

〈小松委員長〉

これより会議を公開とします。

それでは、次の議案に入らせていただきます。

議案第34号から議案第36号の3議案については、いずれも後援の議案であります。一括議題としたいと思っておりますがご異議ございませんか。

〈全委員〉

異議なし。

〈小松委員長〉

ご異議なしと認めます。よって議案第34号「平成23年度松竹新派特別公演「女の一生」に係る後援について」、議案第35号「夏休み特別展「昭和レトロの世界 ～わが街なつかしの広場～」に係る後援について」、議案第36号「ポリテックビジョン in 京丹後2011に係る後援について」の3議案を一括議題とします。

米田教育長から提案理由の説明をお願いします。

〈米田教育長〉

これらにつきまして、教育次長のほうから提案いたします。

〈吉岡教育次長〉

議案第34号「平成23年度松竹新派特別公演「女の一生」に係る後援について」でございますが、この事業につきましては、本格的な舞台を鑑賞する機会の少ない当地におきまして、舞台公演を開催し文化振興によるまちづくりを進めようという目的で開催されるものでございます。期日は、平成23年9月30日、会場は京都府丹後文化会館で開催をされます。主催は、財団法人京都府丹後文化事業団と京丹後市であり、申請者は当財団法人理事長 中山泰氏でございます。以上、後援議案でございます。

議案第35号「夏休み特別展「昭和レトロの世界 ～わが街なつかしの広場～」に係る後援について」でございますが、この事業は、昭和30年～40年代をテーマに写真やグッズ等の展示を行い、その時代を体験できる場を提供することにより、その時代にあった困難に負けないバイタリティや人と人との繋がり大切さなどを改めて考えていただく機会にさせていただきたいということで実施されるものでございます。期日は、平成23年7月30日～8月16日まで、峰山ショッピングセンターメインで開催されます。主催は峰山ショッピングセンターメイン テナント会と峰山商業開発株式会社でございます。申請は当テナント会会長 藤田康弘氏と、峰山商業開発株式会社代表取締役 松本研二氏でございます。

続きまして、議案第36号「ポリテックビジョン in 京丹後2011に係る後援について」でございますが、この事業は、地域におけるものづくり人材育成に関する拠点としての役割を果たすため、教育訓練について幅広く紹介するとともに、地域社会や学校、関係機関と連携し、ものづくりのイベントを開催し、ものづくりに親しむ社会の形成とものづくり人材の育成への取り組みについて、地域社会に広く理解を得る契機とすることを目的とするものです。期日は平成23年9月17日、18日の両日、場所はショッピングセンターメインで開催されます。主催は、近畿職業能力開発大学校附属 京都職業能力開発短期大学校、申請は当短期大学校校長 長瀬安信氏でございます。

以上、3議案の後援議案について、よろしく願いいたします。

〈小松委員長〉

ただ今、後援議案につきまして、3議案の説明をいただきました。

まず、議案第34号「平成23年度松竹新派特別公演「女の一生」に係る後援について」、ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

〈水野委員〉

本件につきましては、以前にもこのような後援議案があったのではないかとと思いますが、趣旨も内容も極めて適切なものだと思いますので賛成いたします。

<小松委員長>

他にございませんか。

なければ、次に、議案第35号「夏休み特別展「昭和レトロの世界 ～わが街なつかしの広場～」に係る後援について」ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

<森委員>

私もこれを見せていただいて、本当に自分の子どもの頃で、懐かしいなあという感じがしているのですけれども、本当に人と人との繋がりを求めることは大切だと思いますし、どうしたら繋がれるかということは考えていけないのではないかなと思っています。この特別展で、「昔は良かったな」だけで終わるのではなくて、本当に今京丹後市だから繋がれること、繋がることを見つけてほしいと思いますし、そこからこのことによって何か生まれることを期待したいなと思って見せていただきましたので、ぜひ成功すること、趣旨に基づいて成功することを願いたいなと思っております。

<小松委員長>

色々な体操教室とかやっていたと思うんですけど、こういった類のことは今までマインで、ちょっとこちらと関係することですけどもそういうことはあったのか、センターコートなんかを使ってやっていたことは何かあるんですか。

<米田教育長>

センターコートを使ってはあるだろうなあ、何か。

<吉岡教育次長>

よくありますね。去年は1階だったような。

<米田教育長>

作品展とか、子どもの。そういうのは、してたことがないかなあと。僕も学校におる時に覗きにいったことはありますが、こういう風は大掛かりなものは私の記憶にはありません。

今、森委員が言われましたけども、いわゆる40年代云々ですので今の50代以上の方が懐かしいなあと思われるだけで、若い子たちがどうって見るかなあと。だから、親子連れで行って、親が説明しながら聞いてやるようなことをしながら、今、森委員も言われたような繋がりをこのことで考えてくれることが必要だと思います。

<水野委員>

森委員さんのご意見がありましたけれども、私も本件につきましては賛意を表したいと思います。まず、今回の内容を見せていただきますと、昭和の一時期の生活文化史を知る非常に貴重な機会にもなると思いますし、そういった意味では教育、文化の振興にも非常に資するものだと思いますし、合わせて民間の手でこういった企画が行われるということ

についても積極的な意義を認めて賛成といたします。

<文珠委員長職務代理者>

今までマインを会場にいろんな行事があつて、マインが中心になつて企画を作つての後援依頼というのはあまり記憶になかつたように思うんです。たまたま今回は、今年はレトロがテーマということもあつて、これからもまた色々とぜひ地域に資するようすばらしい企画をしていただいて、教育委員会がどんどん「これはいいぞ」と言つてできるようなものを期待しております。

<小松委員長>

他にございませんか。

なければ、次に、議案第36号「ポリテックビジョン in 京丹後2011に係る後援について」ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

<水野委員>

この内容につきましても、昨年も同じような規模で2日間実施されたようにお見受けしておりますけども、まさにものづくりが生命線であるわが国にとって非常に意義のある取り組みだと思つたので、賛成をしたいと思います。

<小松委員長>

これは、織金センターなんかの事業とはまったく違うんですね。

<米田教育長>

これは、昔職業訓練校というのがございました。中学校を卒業して行く訓練校と、高等という言葉が付いて高校卒うんぬんというのがありました。おそらく、これは大学という言葉が使つてあるんで、舞鶴に高等職業訓練校というのがあつて、それがこういう風に名前を変えてしておるといふふうに思つています。

<吉岡教育次長>

ポリテックという意味について、インターネットで調べましたら職業能力開発というような意味だそうです。そういう意味でこの名前もそうなんですが、そういう意味の将来展望というか、そういうことを考えたイベントが題名となっています。

<小松委員長>

他にございませんか。

<森委員>

2011ということなので、昨年までに50名、50名とか30名とか書いてあるんですけども、応募人数とかどのくらいの実績があつたのかなと思つています。

<吉岡教育次長>

申請いただいたものには付いていないので、ちょっと分かりません。事業はたぶんやら

れていたと思うんですが、後援としては今回が初めての後援になります。

<水野委員>

ちょっとインターネットで見ましたら、平成22年の9月25、26日の2日間同じような会場で、300名の小中学生と保護者が合計で観えたというふうに記録されたものが報道されておりました。

<小松委員長>

それでは全体を通して、ご質問、ご意見等がありましたら、お願いします。

それでは、順次お諮りを致します。

議案第34号「平成23年度松竹新派特別公演「女の一生」に係る後援について」につきまして、承認にご異議ございませんか。

<全委員>

異議なし。

<小松委員長>

異議なしと認め、承認いたします。

次に、議案第35号「夏休み特別展「昭和レトロの世界 ～わが街なつかしの広場～」に係る後援について」につきまして、承認にご異議ございませんか。

<全委員>

異議なし。

<小松委員長>

異議なしと認め、承認いたします。

次に、議案第36号「ポリテックビジョン in 京丹後2011に係る後援について」につきまして、承認にご異議ございませんか。

<全委員>

異議なし。

<小松委員長>

異議なしと認め、承認いたします。

それでは、次に報告議案が2件あります。

報告第10号「京丹後市就学指導委員会委員の委嘱について」、報告第11号「京丹後市小中一貫教育研究推進協議会委員の委嘱について」を一括議題とします。

米田教育長から説明をお願いします。

<米田教育長>

この件につきましても、教育次長のほうから提案いたします。

〈吉岡教育次長〉

報告第10号「京丹後市就学指導委員会委員の委嘱について」説明をさせていただきます。最初にお詫びをさせていただきます。資料として報告第10号で多くの枚数が付いているんですが、議案として特に必要なのは前2枚、4ページです。それ以降については、役員名簿とか支部の名簿が付いておりますが、これは特に必要ありませんので、参考に見ていただくということで回収まではしませんので、そういう形で取り扱いをお願いしたいと思います。

それでは、説明をさせていただきます。心身に障害のある幼児・児童・生徒に対し、発達や障害の実態に応じた就学指導を行うために設置しております、京丹後市就学指導委員会委員の委嘱を行うものでございます。委員は、京丹後市就学指導委員会規則第3条により要件が規定されておりますが、校医、保育士、幼稚園、小学校及び中学校の教職員、学識経験者並びに関係行政機関の職員を委嘱することとしており、別紙名簿に付けさせていただいております。なお、委員の任期につきましては、規則で1年となっておりますので、年度ごとに委嘱したいという関係もありまして、平成23年4月1日から平成24年3月31日までとさせていただきたいと思っております。以上、よろしくお願いたします。

続きまして、報告第11号「京丹後市小中一貫教育研究推進協議会委員の委嘱について」説明をさせていただきます。5月の教育委員会議会で承認をいただきました、京丹後市小中一貫教育研究推進協議会設置要項に基づき、別紙名簿のとおり委員を委嘱することとしたので報告させていただきます。委嘱状は、第1回目の会議を今月末、または来月初めに予定しておりまして、その際に交付させていただきたいと考えております。なお、委員の任期につきましては、要綱の方で2年としておりますので、平成23年7月1日から平成25年6月30日までとさせていただきたいと思っております。以上、よろしくお願いたします。

〈小松委員長〉

ただ今、報告議案につきまして、説明をいただきました。
ご質問等がございましたらお願いします。

〈水野委員〉

報告第11号につきまして、その小中一貫教育研究推進協議会の発足第1回の会合が、今月末か来月末。

〈吉岡教育次長〉

来月初めです。

〈水野委員〉

まだ確定していないんですか。

〈吉岡教育次長〉

まだ決まっておりません。

〈小松委員長〉

これは、どういうペースでだいたい進めていかれるご予定ですか。

〈吉岡教育次長〉

年度内に2回ぐらいは開催したいと思っておりますが、この委員会をまず立ち上げさせていただきまして、委員会の中で全体的な方針を確認していきたいというふうに思っています。それ以降、各学校の先生等もまた改めて本会議の委員に委嘱しまして、具体的な協議等も入っていききたいと思っております。推進協議会自体につきましては、今回の設立ですが、すでに教育委員会から各学校の校園長、教頭も含めて役職のある方については、説明等もさせていただいておりますし、校園長会議等でも独自に色々と協議、研究、検討もやっていたりしているような形で進めさせていただいておりますので、実質は少しずつ動いているような形で進めさせていただいております。

〈小松委員長〉

この推進協議会を通じて、それぞれの連絡調整もきちっとやっていくということにもなってくるという考え方でよろしいですか。

〈吉岡教育次長〉

はい。全体のとりまとめをこの推進協議会のほうでやらせていただきたいと思いますと思っております。

〈文珠委員長職務代理者〉

推進協議会が発足予定、これから実際進んでいくということですが、予定といたしましてはこの一つくらい委員会がありましたね。

〈吉岡教育次長〉

これの下部組織

〈文珠委員長職務代理者〉

はい。そちらの方はいつ頃立ち上がるんですか。

〈竹本教育理事〉

推進協議会のほうを、先ほど次長からありましたように、本年度内に数回と考えておりますが、その下部組織にあたります学校連携専門部会ということにつきましては、校長会、丹後の小学校、中学校の校長会とも十分連携、相談をさせていただいて、発足時期について考えていきたいというふうに思っております。理由としましては、各学校の教職員を主なメンバーと考えておりますので、その長であります校長先生方と十分協議の上で進めていきたいというふうに思っております。

〈吉岡教育次長〉

部会等の取り組みについては、具体的に夏から秋くらいから始めていきたいと思っております。ただ、開催時期まではまだ正式には決めてないですが、できるだけ早い取り組み

をしていきたいというふうに考えています。

<小松委員長>

早い取り組みを期待したいです。

<森委員>

保護者の代表、代表というのか、松田さんとか野村さんというのは、きっと今年の会長さんであったり、委員長さんだったりするんであろうなと思うんですけども、23、24、25ということで2年間は、PTAの協議会の会長を退いた後も2年間任期があるということですね。

<吉岡教育次長>

そうですね。その予定をしています。

<小松委員長>

他にご質問等ございませんか。

<文珠委員長職務代理者>

同じことですが、例えば小学校長や園長先生たちも異動等分らないんですけど、同じことなんでしょうか。

<吉岡教育次長>

はい。充て職的なことになると思います。校長、教頭等については、異動等もありますので代わられる場合もあるというふうに思っております。

<米田教育長>

退職もあります。

<吉岡教育次長>

退職等もありますので、校長会等の代表の方が出られていますので交代ということもあると思っています。

<小松委員長>

ということは、学校や幼稚園、そういった関係については充て職的な要員で進めていくというふうに解釈したらいいということですか。

<吉岡教育次長>

はい。

<小松委員長>

学識経験者、保護者については、そのまま。

〈吉岡教育次長〉

はい。そのとおりです。

〈小松委員長〉

他に質問等ございませんか。

〈小松委員長〉

それでは、以上で本日の議事はすべて終了いたしました。

続いて5のその他ということで、諸報告、各課報告を順次お願いしたいと思います。

(1) 諸報告

〈教育次長〉

- ① 「後援」申請に係る6月期承認について

(2) 各課報告

〈学校教育課〉

- ① 平成23年度全国学力・学習状況調査について
- ② 7月学校行事予定について
- ③ 学校再配置事業の取り組みについて
- ④ 「まるごと京丹後食育の日」(1学期)の取り組みについて

〈社会教育課〉

- ① 平成23年度京丹後市公民館連絡協議会総会・第1回研修会について
- ② 平成23年度視覚障害者交流研修会について
- ③ 第44回京都府体育指導委員研究大会について
- ④ 平成23年度第1回京丹後市図書館協議会について
- ⑤ 平成23年度くみはまカヌー交流大会について
- ⑥ 平成23年度京丹後市学校支援地域本部第1回実行委員会について
- ⑦ 平成23年度丹後地方社会教育委員連絡協議会総会・研修会について
- ⑧ 第26回国民文化祭・京都2011 小町ろまん「短歌大会」応募状況について

〈文化財保護課〉

- ① 行政財産の使用許可について
行政財産使用許可申請書の写し
(KDDI株式会社:京丹後市峰山町鱒留小字奥大路1650番地(成路分校跡地))
- ② 京丹後市文化財セミナー「久美浜代官所と丹後・但馬・美作」について

〈小松委員長〉

以上で第8回京丹後市教育委員会定例会を閉会いたします。ご苦労様でした。

〈閉会 午後4時58分〉

[8月定例会 平成23年 8月8日(月) 午後4時00分]